

## みどりの教室(千葉県緑化推進委員会主催)

### 森と自然を活用した遊び(自然体験)

晝間 初枝(四街道市)

日時:2022年8月1日(月)10:00~15:00 天候:晴れ

参加者:8名 千葉県森林課職員 担当指導員:小坂裕子・晝間初枝

幼・保・こども園の先生方を対象とした「みどりの教室」は、緑化推進拠点施設(袖ヶ浦市長浦)にて、コロナ感染と熱中症に気をつけながらの開催となりました。

午前中は猛暑の中、木陰を探しながらの“自然さんぽ”。すぐにマテバシイのドングリを発見、青いドングリは柔らかいのでその場で楊枝を刺しこまを作って遊びました。池ではギンヤンマの雌雄連結に感動、ニイニイゼミの抜け殻探し、芝生でバッタ捕り、木の葉集め・・・室内へ。

#### 自然体験1:葉っぱ遊び

採取した葉っぱや木の実を並べ、一番のお気に入りを見せ合いっこ、虫食いの葉、黄色い落ち葉と様々です。次に、葉っぱじゃんけん、葉っぱ並べ、お絵かき、変身遊び(草花遊び)と葉っぱを使った遊びをつなげていきました。最後は集めた材料でかんむりを作り、全員で集合写真を撮りました。

午後の初めは、幼児期からの自然体験の必要性について話をした後、森と自然を活用した遊びの事例を紹介しました。



#### 自然体験2:マツボックリで遊ぶ

マツボックリやドングリは拾ったり、触れたりするだけでも楽しいものですが、それらで遊ぶことが出来たらさらに楽しい自然素材となって遊びがどんどん広がっていきます。

マツボックリに触れた後、マツボックリを積み重ねてタワー作り、崩れたら何度でもチャレンジ、少しの間、みんなで夢中になりました。次に、紙コップ、ひも、マツボックリでけん玉を作って遊びました。その間、マツボックリを水に入れておき、鱗片が閉じたところでタネの知恵について説明しました。

#### 自然体験3:クズのつるで遊ぶ

夏の間、至る所で繁茂するクズのつるを使って遊びました。山のように積まれたクズを引っ張ると絡み合っていたり、互いに同じつるを引っ張っていたりで譲り合いながら自分のつるを引き抜きました。引っばっても切れないつるの強さはクズの茎の繊維によるもの、昨年、研修会で繊維を取り出して編んだコースターを見てももらいました。茎から落とした葉でクズの葉鉄砲、あちこちから「パン」と音がして成功した人も。葉柄でムカデ作り、茎を丸めてリースや輪投げの輪っか作りなど、しばらくの間つる遊びを楽しみました。

活動を振り返り、「楽しかった」「身近にある自然物で簡単に遊べるものがたくさんあること知った」「早速、子どもたちと遊んでみたい」との声。参加者と一緒になって楽しんだ一日でした。

